

第20回 千丁地域審議会会議録

開催日時	平成23年11月16日(水) 14:00~15:20
開催場所	千丁支所2階大会議室

■ 出席委員

会長	村松 鈴子	委員	竹本 美智子	委員	村田 健一
副会長	福田 輝美	〃	松浦 和久	〃	吉野 勝子
委員	川口 重信	〃	松永 要		

■ 欠席委員

委員	作田 絹子	委員	中 寛	委員	永溝 ユリ子
----	-------	----	-----	----	--------

■ 市出席者

役 職	氏 名	役 職	氏 名
支所長	森本 俊規	千丁建設事務所長	鶴山 信一
総務振興課長	豊田 孝二	企画戦略課課長補佐	谷脇 信博
〃 振興係長	上村 和寛	〃 企画係長	相澤 誠
〃 主任	沢田 幸一郎	〃 主任	坂本 友和
市民福祉課長	寺本 修也	こども未来課長	松村 浩
千丁農林水産事務所長	松島 秀司	〃 課長補佐	早木 浩二

■ その他の出席 なし

■ 傍聴者

一般傍聴者	0	名	報道機関	0	名
-------	---	---	------	---	---

■ 協議事項

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) 第20回千丁地域審議会について

①議事

八代市総合計画後期基本計画策定及び合併効果の検証について

②報告事項

八代市保育所民営化等計画について

③情報提供（資料配布のみ）

- ・平成23年度市民事業仕分けの結果について
- ・各地域審議会の開催状況について

(2) その他

○司会

第20回千丁地域審議会開会。会議成立説明。資料確認（当日配布資料あり）。

○会長挨拶

○議題

(1) 第20回千丁地域審議会について

①議事「八代市総合計画後期基本計画策定及び合併効果の検証について」

※企画政策課説明要旨

- ・新市建設計画の理念を引き継いだ八代市総合計画を、平成20年度より策定した。前期基本計画が平成24年度で終了するため、これまでを振り返り、今後の市政運営に反映していきたい。
- ・行財政運営状況、アンケート、合併後の事業、合併補助金に活用状況、合併特例債の活用状況、合併後の公共団体の現状を調査する。
- ・アンケートは、各地域の人口比率で抽出した3,000人に実施し、1,230人から回答を得た。八代市全体の回収率は41%で、千丁町の対象数は160名で、67人（42%）の回答を得た。アンケート結果は、後期計画に反映させる。

- ・アンケート結果は、次回の地域審議会です。八代市ホームページにも掲載する。

《意見・質問》

委員：記述する箇所が少ない割には、回収率が41%と少ない。

回答：50%を目標としていたが届かなかった。前期計画のアンケートは、回収率が30%後半であったことから、前回より興味を持たれたようである。アンケートの信頼率は90%以上ある。

委員：アンケートの回答は、性別で違いがでると思われる。3,000人の男女比率はどれくらいか。また、男女の回収比率はどれくらいか。

回答：男女の比率は行わなかった。地域の偏りが無いよう、旧市町村の人口比率でアンケートを実施した。回収率は、現時点で男性44%、女性56%である。

委員：全国的な世論調査でも、3,000人くらいの調査しかしない。今回のアンケートで3,000人は多いと思うが、どのようにして人数を決めたのか。

回答：コンサルタントと協議し、3,000人のアンケートを実施し50%の回答があれば、市民の大方の意見を聞きく事ができるとの判断で実施した。

②報告事項「八代市保育所民営化等計画について」

※こども未来課説明要旨

- ・平成27年度までの第1期計画では、6保育園の民営化、統廃合を計画しており、千丁みどり保育園は対象となっていない。
- ・保育園の保育サービスの現状、園児数、市の財政状況、八代市立民営化等計画などを説明した。
- ・民営化は、平成25年に宮地さくら保育園、北新地保育園、平成26年に白島ぎんが保育園を対象としている。
- ・統廃合は、平成25年度に栗木保育園、平成26年度に日奈久若竹保育園、平成27年度に河俣保育園を対象としている。

《意見・質問》

委員：統廃合された保育園の職員はどうなるのか。

回答：現在、14園に約160名が勤務しており、うち市職員が約80名で、残りは臨時職員である。民営化、統廃合により市職員は他の園に異動することとなり、臨時職員は減ることになる。今後の計画は、職員の処遇のことでもあるので、それらのことも含めて、八代市立保育所民営化等検討委員会で再度協議していく。

委員：今後、保育士の新規採用はないのか。

回答：最近数年間、保育士の採用はしていない。今のところ、今後の保育士の新規採用は予定されていない。

(2) その他

①企業誘致課設置以降の企業立地数

※企画政策課説明

- ・新設4件（雇用約135名）、増設23件（雇用約290名）

②パトリア千丁温泉改修工事について

※千丁市民福祉課説明

- ・工事の進捗率は85%で、11月中に工事完了予定。
- ・12月より館内の清掃やレジオネラ菌の検査を行う。
- ・12月27日～29日の3日間は、温泉を無料開放したい。

③住民自治の進捗状況について

※総務振興課説明

- ・資料「平成23年度 住民自治推進事業の状況」により、他校区の状況を説明。
- ・次回の市政協力員会会議にて先行モデル地区の指定を受けるかどうか協議がなされる。参考のため、現時点での地域審議会委員の個人的意見をお聞かせ願いたい。

《委員意見》

- ・まだ住民自治の詳細を理解していない部分がある。もう少し地域の人の意見を聞きながら進めるべき。
- ・町の特徴を生かしながら、みんなが力を合わせ、地域を盛り上げていくという意味から、なるべく早くそのような体制ができればと考える。
- ・遅かれ早かれ行うべき事と考える。まだ区長会の意見を聞いていない。それぞれの区により組織が違い、地区の役員会に地区の全ての組織の長が所属している訳ではない。足並みを揃えるため、区に組織を作るべき。
- ・平成23年2月2日に住民自治の説明会がなされ、アンケートが実施された。結果的にはモデル地区指定を1年延ばす事とした。個人的には住民自治を行う時期だと思う。地区の総会で説明をしたが、地域住民は住民自治への意識が薄いと感じた。
- ・地区の総会に諮ろうと考えている。取りのこされてはいけないと考える。
- ・他校区の情報を得ながら、じっくり考えて進めたい。千丁地区の市政協力員全員の心境を聞いてみたい。
- ・在住する地区では、住民自治に関する話し合いはなされていない。地区の行事をするための話し合いがなされる予定である。そのような事から住民自治はスタートすると思う。まだ、住民自治を進めている事が知られていないため、住民に説明をする必要があると思う。
- ・先行モデルを受けても特典はあまりなかったもので、1年間の様子見でいいと考えていた。平成27年に全校区でスタートする事は決まっているので、先行モデルの5校区の意見を聞きながら、平成24年から立ち上げてもいいと考える。

○次回会議について
3月・・・第21回千丁地域審議会

○閉会